

講 座 名	現代社会	教 科 科	公民科	科 目	現代社会
開 講 学 年	3 年	履 修 区 分	自由選択	単 位 数	2
教 科 書	高等学校 改訂版新現代社会（第一学習社）				
教 材	なし				

1 科目の目標・学習内容

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習の到達目標

① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用・技能	④ 知識・理解
現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、効果的に活用している。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

3 学習計画

月	単元名	特に培いたい資質能力	学習内容	単元の評価規準 ①関心意欲態度 ②思考判断表現 ③技能 ④知識理解	評価方法 【評価規準】
4	第1編 私たちの生きる社会 1. 環境と私たちの生活 2. 資源・エネルギー問題と私たちの生活 3. 科学技術の発達と私たちの生命 4. 高度情報社会と私たちの生活	知識 技能 思考力 判断力 表現力	・環境問題について ・資源、エネルギー問題について ・科学技術、医療技術の発達 ・生命倫理について ・高度情報社会について	①さまざまな環境問題と人間活動のかかわりについて、教科書掲載の写真や地図を使いながら意欲的に理解する。（授業態度） ②資源の有用性について原子力発電を例に、資源・エネルギー問題を多角的に考える。 ③生命倫理をめぐる問題について、どのようなものがあるか新聞やインターネットなどを適切に活用している。（提出課題） ④高度情報社会で、生きていくために必要な知識を身につけ、課題に取り組むことで幸福、正義、公正など社会の在り方を考察する。 ②職業のもつ意味、社会に参加することの意義について、書籍やインターネットで調べ、一人一人が社会づくりに参画していくことを理解する。 ④一人前として自立するためには何をしたらよいかを考える。（提出課題）	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察
5	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と事故の形成 1. 青年期とは 2. 青年期を充実させるために 3. 伝統や文化とのかかわり 4. 祭りや年中行事 5. 社会とのかかわり 6. 私たちの生きがい		・青年期について ・伝統や文化 ・職業のもつ意味、社会参加の意義		
6	第2章 個人の尊重と法の支配 1. 個人と国家 2. 法の支配 3. 基本的人権の保障 4. 世界政治体制	知識 技能 思考力 判断力 表現力	・個人と国家のかかわりについて ・近代国家の形成にかかわる背景 ・基本的人権の保障されるにいたった経緯について ・政治体制について		
前期中間考査				①私たちの生活と政治や国家とのかかわりについて関心を高め、近代国家はどのようにつくられたのかを理解する。 ②基本的人権が保障されるにいたった経緯を、さまざまな情報手段で資料を収集し、具体例をあげて考察し、理解する。	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察

7	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 1. 日本国憲法の基本原理 2. 平和主義と日本の安全保障 3. 冷戦終結後の防衛問題 4. 平等に生きる権利 5. 自由に生きる権利 6. 豊かに生きる権利 7. 新しい人権 8. 基本的人権と公共の福祉 9. 国会の運営と権限 10. 内閣と行政の民主化 11. 裁判所と人権保障 12. 地方自治と住民の福祉 13. 選挙制度の現状と課題 14. 世論の形成と政治参加 前期期末考査	知識 技能 思考力 判断力 表現力	・日本国憲法の成立過程について ・明治憲法との比較 ・日本国憲法の基本原理について ・基本的人権、新しい人権について ・公共の福祉について ・国会、内閣、裁判所について ・地方自治の意味とその発展について ・選挙制度、国民の政治参加の方法について	①日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。（授業態度） ②国会議員の選挙制度はどのようなしくみか。また、どのような課題があるのか。国民が政治に参加する方法にはどのようなものがあるのか。住民にとって生活しやすい政治のために必要な行動を話し合う。（発問評価） ②議院内閣制のしくみ、内閣の組織と権限について理解し、行政の民主化のために何が必要か考える。 ③身の回りの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について調べ、その解決策を考える。また、社会権や新しい人権にはどのようなものがあるか理解する。（提出課題） ④日米安保体制はどのような背景から生まれ、どう変化してきたのか理解する。 ④議会制民主主義、裁判員制度など、三権のしくみや制度などを理解する。	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察
	第4章 国際政治の動向と日本の役割 1. 国家主権と国際法 2. 国際連合の役割と課題 3. 第二次世界大戦後の国際社会 4. 冷戦終結後の国際社会 5. 核兵器の廃絶と国際平和 6. 地域紛争と人種・民族問題 7. 国境と領土問題 8. 日本の役割と私たちの生き方				
10	第5章 現代の経済社会と私たちの生活 1. 経済と私たちの生活 2. 経済体制の変容 3. 現代の企業 4. 市場のしくみ 5. 国民所得と私たちの生活 6. 景気変動と物価の動き 7. 財政のしくみと税金 8. 日本の財政の課題 9. 金融機関のはたらき 10・11. 戦後日本経済のあゆみ（1）（2） 12. 技術革新の進展と産業構造の変化 13. 中小企業の現状と役割 14. 食の安全とこれからの日本の農業 15. 雇用と労働問題 16. 労働環境の整備 17. 公害の防止から環境保全へ 18. 消費者問題と消費者主権 19. 社会保障と福祉社会 20. これからの社会保障 卒業考査	知識 技能 思考力 判断力 表現力	・経済の基本的な仕組み ・企業の活動内容、株式会社の特徴について ・需要と供給との関係を含む市場のしくみについて ・景気変動、経済成長について ・財政、金融政策について ・日本の中小企業、農業問題について ・労働運動の展開と労働雇用・環境問題について ・社会保障について	①民族や宗教の対立による紛争にはどのようなものがあるか、人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。 ②国連の成立、役割と課題について理解する ②第二次世界大戦後と冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って理解し、理解する。 ③核兵器を廃絶するためにどのような取り組みが行われているか、また国際平和のために何をしなければならないのか、さまざまな情報手段を活用して調べ、まとめる。（提出課題） ④国境と領土問題や日本の領土問題について、教科書の写真・地図を使用して理解する ①市場の基本である「需要と供給との関係」について、正しく理解する。 ②労働運動の展開と労働基本権、雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体例をあげて多角的に考察する。（発問評価） ③技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、新聞やインターネットを活用して身近な問題と関連させて考察する。 ④金融機関の果たしている役割、中央銀行の金融政策について理解する。	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察
11	第6章 国際経済の動向と日本の役割 1. 国際分業と貿易 2. 国際経済体制のあゆみ 3. 国際収支と為替相場 4. 国際経済の動向 5. 進む地域的経済統合 6. 発展途上国の経済と南北問題 7. 国際社会のこれから		・自由貿易と保護貿易について ・為替相場について ・円高、円安と経済のグローバル化について ・貿易摩擦について		
12	第7章 民主社会に生きる倫理 1. 豊かな人生を求めて 2. 日本の伝統的な考え方 3. 近代の西洋社会に見られる考え方 4. 近代市民社会から大衆社会へ	知識 技能 思考力 判断力 表現力	・哲学や宗教の役割 ・日本の伝統意識と外国から来た思想との影響について	①自由貿易と保護貿易の違いについて考え、自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割について理解する。 ②日本の貿易やアメリカ、アジアなどの貿易について理解し、貿易の拡大とそれともなう貿易摩擦について、具体例をあげて考察する。 ③貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考え、身近な事例をもとにレポートを作成するなど、適切に表現する。（提出課題） ④国際収支の変化、為替相場の変動が経済に及ぼす影響について理解する。 ①哲学や宗教の役割を理解するとともに、人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。（授業態度） ②日本の伝統意識を理解し、生活の中での仏教や儒教、西洋思想の影響について具体例をあげて考察する。	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 活動観察
1					①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 活動観察

4

評価基準

学習活動への参加意欲や態度、課題やノートの提出物などの内容、及び定期考査などから、総合的に評価します。

5 その他